

第38期 第2四半期

# 株主通信

(2012年4月1日から2012年9月30日)

## CONTENTS

決算ご説明	P01
トップインタビュー	P03
コーポレートデータ	P05
MEIKO NEWS	裏表紙

証券コード：6787

株式会社 メイコー

38th interim  
**MEIKO REPORT**

当第2四半期決算(連結)のポイント

プラス要因(前年同期比)

1. ベトナム工場の本格操業開始

マイナス要因(前年同期比)

1. スマートフォンの受注遅れ、TVの更なる受注減

2. 中国反日デモによる生産減

3. 円高による為替差損

電子回路基板別の売上構成

商品別では、自動車向け基板において販売が堅調に推移し、売上比率は前第2四半期と比較して34%から49%となりました。一方、薄型TV向け基板において、国内各社のテレビ事業の縮小等の影響により売上比率は16%から7%となりました。

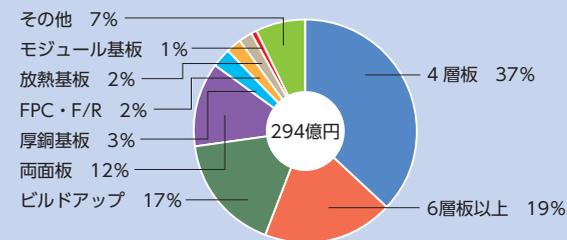
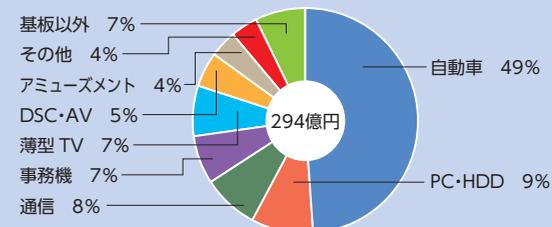
品目別では、主に薄型TVの売り上げが減少した影響等により、両面板および4層板の比率が減少し、6層板以上の比率が増加しました。

商品別

	前第2四半期	当第2四半期
自動車	34%	49%
PC・HDD	9%	9%
通信	8%	8%
事務機	6%	7%
薄型TV	16%	7%
DSC・AV	6%	5%
アミューズメント	4%	4%
その他	7%	4%
基板以外	10%	7%

品目別

	前第2四半期	当第2四半期
4層板	40%	37%
6層板以上	14%	19%
ビルドアップ	16%	17%
両面板	13%	12%
厚銅基板	2%	3%
FPC・F/R	1%	2%
放熱基板	2%	2%
モジュール基板	2%	1%
その他	10%	7%



売上高/営業利益/四半期(当期)純損益

自動車向け基板では、世界的な自動車需要の回復やエコカーへの関心の高まりを中心に販売は堅調に推移しましたが、テレビやパソコン関連機器をはじめとするエレクトロニクス業界の不振に加え、スマートフォンの受注の遅れ、さらに為替の影響も受けた結果、売上高・利益とも前年度に比較して厳しい状況となりました。

売上高



営業利益/営業利益率

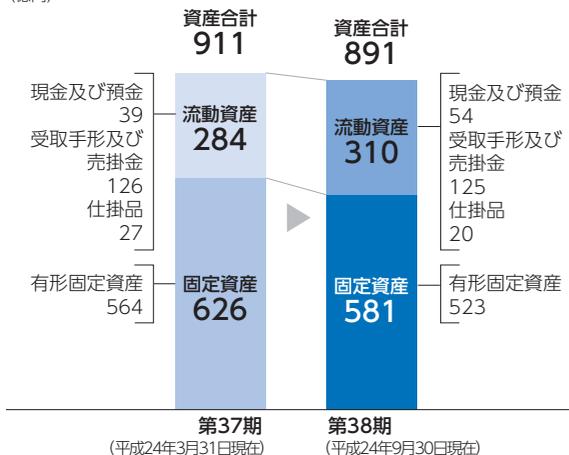


四半期(当期)純損益/四半期(当期)純損益率



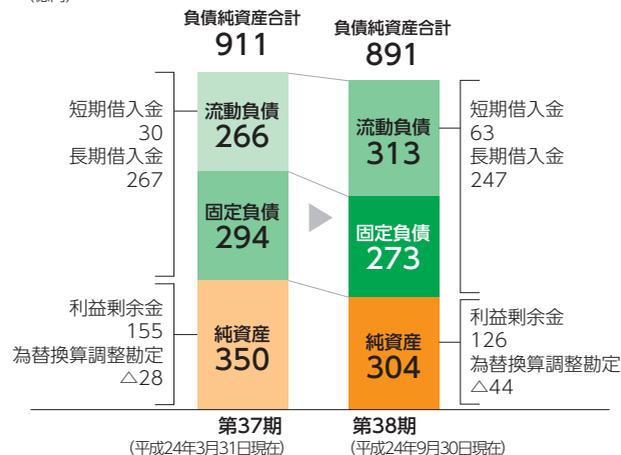
## 資産の部

(億円)



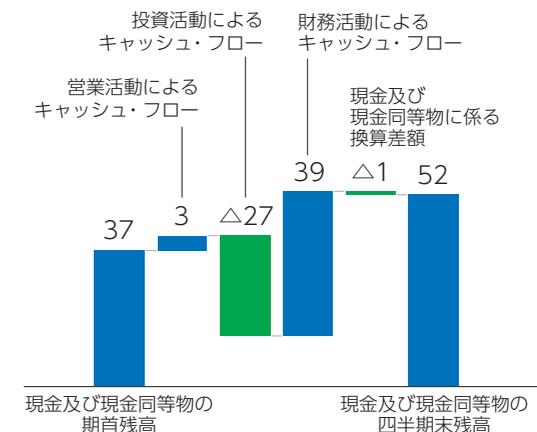
## 負債・純資産の部

(億円)



## キャッシュ・フローの状況

(億円)



**主な増減：**流動資産において、現金及び預金が14億7千万円増加、受取手形及び売掛金が1億1千4百万円減少、仕掛品が7億1百万円減少、固定資産において、有形固定資産が40億3千5百万円減少いたしました。

**主な増減：**負債の部では、流動負債において、短期借入金が32億8千9百万円増加、固定負債において、長期借入金が19億9千6百万円減少いたしました。純資産の部では、利益剰余金が28億4千1百万円減少、為替換算調整勘定が16億4千万円減少いたしました。

**主な増減：**当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ14億7千万円増加し、52億2千1百万円となりました。

## 総資産

(億円)



## 純資産

(億円)



## 1株当たり四半期(当期)純損益

(円)



## 1株当たり配当金

(円)





株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第38期(平成25年3月期)第2四半期MEIKO REPORTをお届けするにあたり、インタビューにお答えする形で、当第2四半期累計期間の事業の状況と今後の経営戦略についてご説明いたします。

代表取締役社長 **名屋 佑一郎**

## メイコグループの経営理念

顧客に最高の価値とサービスを提供し  
社会に貢献する

最高への挑戦

企業の価値を高め社員と社会に幸福を



**当第2四半期連結累計期間における事業環境と経営成績についてお聞かせください。**



**生産設備の増強を図るも、受注減が業績に影響**

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、欧州における財政・金融危機の深刻化による南欧諸国の大幅なマイナス成長に加え、好調を維持していたドイツも景気が減速したため、景気の停滞が顕著化してまいりました。米国においては生産・雇用状況は回復しつつあるものの、個人消費の停滞、設備投資の減少など予断を許さない不透明な状況が続いております。中国をはじめとするアジア経済も、輸出減少や設備投資の伸び悩みなどから、一時に比べて経済成長のペースがスローダウンしております。

一方、国内の経済は、復興需要を背景に個人消費が堅調に推移し、震災以降続いていた節約志向から持ち

直しの傾向が見られましたが、後半に入って足踏み状態となっています。

当社グループの主要な取引先である自動車業界では、世界的な自動車需要の回復やエコカーへの関心の高まり、さらにサプライチェーン強化のための在庫増しの動きにより販売は堅調に推移しましたが、エレクトロニクス業界では、パソコン関連機器の需要減や国際競争の激化による国内各社のテレビ事業の縮小等により厳しい状況におかれています。さらに9月に起きた中国の反日デモとそれに伴う不買運動の影響も徐々に国内経済に影響を落とし始めています。

このような環境のもと当社グループでは、今後も拡大が見込める自動車関連基板の生産拠点を中国広州工場、山形工場に加えて中国武漢工場でも開始し、さらに今年度から携帯やスマートフォン用基板工場として本格生産を開始しているベトナム工場の設備増強を進めております。しかしながら、業績についてはエレクトロニクス業界の不振、スマートフォン向け基板の受注の遅れなどに加え、為替も円高に推移した結果、売上高、利益とも前年度に比較して厳しい状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高294億7千3百万円(前年同期比8.8%減)、営業利益7千1百万円(同84.0%減)、経常損失18億2千6百万円(前年同期は経常損失10億2千1百万円)、四半期純損失27億4千7百万

円（前年同期は四半期純損失8億2千8百万円）となりました。

 **通期の見通しについて  
お聞かせください。**

 **新製品の登場でも  
世界経済の減速が影響**

今後も成長が続くスマートフォンやタブレット端末の新モデルの登場等に、新たな部品需要が期待されます。しかし一方で、欧州における景気の冷え込みや中国等の新興国における経済の減速等、世界経済は未だ先行き不透明な状況が続くと予想されます。さらにテレビをはじめとするエレクトロニクス機器の販売不振や中国の反日デモと不買運動による自動車販売の落ち込みも、当社の業績に影響を与えると思われます。

これらを踏まえ、通期の連結業績予想については、売上高630億円(前期比0.0%増)、営業利益

通期の見通し(連結)

売上高	63,000百万円
営業利益	700百万円
経常損失	1,800百万円
当期純損失	2,400百万円

7億円(同13.8%減)、経常損失18億円(前期は経常利益2億2千2百万円)、当期純損失24億円(前期は当期純利益11億5千8百万円)といたしました。

 **生産体制の現状と今後について  
お聞かせください。**

 **拡大する市場を見据え、  
ベトナムへの投資を積極化**

国内の生産体制については、震災や原発事故の影響で停止した2工場の内、福島工場は11年夏に稼働を再開しました。生産設備がすべて損壊した宮城工場は、コンセプトを一新し、最先端技術を集約した開発量産工場として、13年4月の再稼働に向けて準備を進めています。

海外の生産拠点では、今後も世界的に拡大が予想される自動車市場に向けて、中国広州工場に加え中国武漢第一工場でも車載用基板の生産を開始し、積極的に海外の自動車メーカーの顧客を増やしてまいります。またスマートフォン向け等の最先端基板の量産拠点である中国武漢第二工場は、基板の受注が計画より遅れましたが、現在では生産を開始しており、今後世界の携帯メーカーとの取引を拡大していく計画です。さらに、本格稼働を開始したばかりのベトナム工場は、近い将来、中国の2工場と並ぶ大規模生産拠点としていく計画であり、それに向けて投資をおこなっていきます。現在はベトナムに進出した海外企業の大規模携帯工場向けに生

産する基板の量を拡大すべく設備を増強中ですが、今後はアジアや欧州に向けた車載基板の量産もおこなうべく計画を進めています。

 **株主の皆様へメッセージを  
お願いします。**

 **内部留保の充実と  
利益還元に向けて努力**

株主の皆様への利益還元につきましては、当社の市場における競争力の維持・強化のための内部留保の充実とのバランスを熟慮したうえで、業績に応じた配当を実施させていただくことを基本方針としております。

中間配当金につきましては、第2四半期連結累計期間の業績および今後の見通しなどを総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら、実施を見送らせていただくことといたしました。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。経営環境が厳しさを増す中、株主の皆様をはじめすべてのステークホルダーのご支援、ご期待に応えるべく、業績および企業価値向上に努めてまいります。今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要

商号	株式会社メイコー
設立	1975年11月25日
本店所在地	神奈川県綾瀬市大上5-14-15
資本金	105億4,563万円
従業員数	9,977名(連結) (国内802名) (海外9,175名)
主な事業内容	電子回路基板の設計・製造・販売 電子機器の開発・製造・販売

役員

代表取締役社長執行役員	名屋 佑一郎
取締役専務執行役員	名屋 精一
取締役専務執行役員	平山 隆英
取締役専務執行役員	篠崎 政邦
取締役常務執行役員	名屋 晴行
取締役常務執行役員	鈴木 哲郎
取締役	佐藤 国彦
常勤監査役	伊豫本 齊
監査役	月井 啓之
監査役	越村 安信

関連会社

株式会社山形メイコー	電子回路基板の製造
株式会社エム・ディー・システムズ	電子回路基板の設計
株式会社メイコーテック	電子回路基板の販売 映像機器・産業機器の製造および販売
名幸電子(広州南沙)有限公司	電子回路基板の製造
名幸電子(武漢)有限公司	電子回路基板の製造
名幸電子香港有限公司	電子回路基板の販売
Meiko Electronics Vietnam Co., Ltd.	電子回路基板の製造、EMS
MDS Circuit Technology, Inc.	電子回路基板の設計
Meiko Electronics America, Inc.	電子回路基板の販売
Meiko Electronics Europe GmbH	電子回路基板の販売

拠点一覧

工場			
神奈川工場	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-76-6007
福島工場	〒979-0401	福島県双葉郡広野町大字上北迫字岩沢1-2	0240-27-3970
山形工場	〒999-3511	山形県西村山郡河北町谷地字真木250	0237-73-4515
メイコー研究開発センター	〒243-0414	神奈川県海老名市杉久保南3-35-6	046-238-5985
大和テクノロジーセンター	〒242-0023	神奈川県大和市渋谷1-2-1	046-279-5217
中国広州工場		中国・広東省広州市南沙経済技術開発区西部工業区広生路2号	+86-20-84980000
中国武漢工場		中国・湖北省武漢市経済技術開発区神龍大道9号	+86-27-84890000
ベトナム工場		Lot LD4,Thach That -Quoc Oai Industrial Zone., Hanoi	+84-4-3368-9888
販売拠点			
基板第一営業部	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-76-6003
基板第二営業部	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-76-6002
基板第三営業部	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-76-9004
EMS部	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-76-9005
国際営業部	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-70-4486
名古屋営業所	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内3-18-1三晃丸の内ビル6F	052-950-2055
大阪営業所	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島7-5-25新大阪ドイビル10F	06-4806-7760
大宮営業所	〒330-0845	埼玉県さいたま市大宮区仲町1-124-2OZビル2F	048-782-7901
海老名事業所	〒243-0434	神奈川県海老名市上郷1012	046-292-3151
営業統括本部(中国広州)		中国・広東省広州市南沙経済技術開発区西部工業区広生路2号	+86-20-84985675
国際営業部(中国広州)		中国・広東省広州市南沙経済技術開発区西部工業区広生路2号	+86-20-84985675
亜洲営業部(中国広州)		中国・広東省広州市南沙経済技術開発区西部工業区広生路2号	+86-20-84985675
上海営業所		上海市長寧区宣化路300号華寧国際南塔22階2201室	+86-21-32528001
天津営業所		中国天津河西区南京路20号金皇大廈3502	+86-22-58181900
台湾支店		台湾桃園市経国路15号8F-3	+886-3-357-3556
名幸電子香港有限公司		香港新界葵涌興芳道223号新都会広場第二期21字楼2107A室	+852-21-918590
メイコーアメリカ		5050 El Camino Real Suite 108, Los Altos, CA 94022	+1-650-336-1400
メイコーヨーロッパ		Am Soldnermoos 17 85399 Hallbergmoos,Germany	+49-89-607-68340
メイコーテック大阪本部	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島7-5-25新大阪ドイビル2F	06-4806-7761
メイコーテック横浜支部	〒222-0033	神奈川県横浜市港北区新横浜3-23-3新横浜AKビル7F	045-548-8061

## 株式情報

発行可能株式総数	63,200,000 株
発行済株式の総数	18,774,076 株 (自己株式 629,244株を除く)
株主数	6,807名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
名屋 佑一郎	4,696	25.0
PLEASANT VALLEY	631	3.4
名幸興産株式会社	608	3.2
有限会社ユーホー	521	2.8
名屋 晴行	488	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	477	2.5
名屋 精一	439	2.3
HILLCREST, L. P.	379	2.0
株式会社三井住友銀行	377	2.0
株式会社三菱東京 UFJ 銀行	375	2.0

※当社は、自己株式 629,244 株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。  
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載URL:  
<http://www.meiko-elec.com/ir/pa.shtml>

上場証券取引所 大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)

株主名簿管理人 および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネットホームページURL)  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 【株式に関する届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様のご住所変更などのお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

## ホームページのご案内



TOPページ



製品紹介(身近なメイコー)



CSR報告書

当社ホームページでは最新のIR情報ニュースリリースの他、製品紹介やCSR情報もご覧いただけます。

当社ホームページもご活用ください。

<http://www.meiko-elec.com/>

メイコーの今をお伝えします

# MEIKO NEWS

## TOPICS

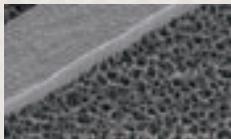
銅と電力の使用量を1/4に削減！

### 高精細フレキシブル基板の開発と量産化に成功

このたび、電子回路基板の材料である銅と生産にかかわる電力使用量をそれぞれ1/4に抑えることで、製造コストやエネルギーを大幅に低減するとともに、省資源や環境に大きく貢献できる、高精細フレキシブル基板の開発および量産化に成功いたしました。

当該製品は、株式会社いおう化学研究所開発の「分子接合技術」を応用し、樹脂の表面に直接銅配線をおこなうことができる「銅箔レス・直接メタライジング技術」を開発したことにより実現可能となったものです。

今回開発した技術はフレキシブル基板のみならず、リジッド基板やビルドアップ基板など様々な製品に応用することができるため、今後の実用化に向けて更なる研究開発に取り組んでまいります。



従来品接合面



本技術による接合面

## メイコーのCSR

CSRをすべての事業活動の中核をなすものとして認識し、おののの地域で信頼される企業を目指して活動をおこなってまいります。

### 環境にやさしい社会の実現を目指すメイコーの挑戦

#### ベトナム工場(Meiko Electronics Vietnam Co., Ltd.)の取り組み

##### ● 塩化銅エッチング廃液の処理フロー



エッチング廃液処理プラント

##### 塩化銅エッチング廃液の再生処理

電子回路基板製造の回路形成工程においては、塩化銅溶液を使用し銅箔を溶かす(エッチング)することで回路を形成しています。ベトナム工場では、業界に先駆けて、回路形成工程で発生する塩化銅エッチング廃液の再生処理をおこなうと同時に有価物を回収するための専用プラントを導入しています。このプラントにおいて、塩化銅エッチング廃液はろ過装置や電解装置で浄化処理された結果、①酸化銅(有価物)、②次亜塩素酸ソーダ(有価物)としてリサイクルされています。また、プラントからの副生成物は食塩のみで危険物質が発生しないため、安全面にも配慮したシステムになっています。



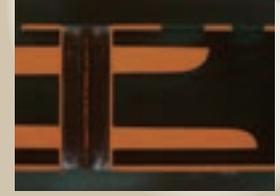
メイコーの技術は様々なところに使われています

### エコカーなど環境対応型製品の普及に貢献する大電流基板

大電流基板とは、ハイブリッドカーや電気自動車など、従来の用途に比べて大きな電流を流す製品に対応するためにパターンを特に厚くした基板です。

メイコーが研究開発をおこなっている大電流基板の特長は、回路形成にあたって一般的なエッチング工法ではなく独自開発の新工法を採用することにより、排液等の排出を大幅に軽減し製造工程をエコ化していることです。また、今般では大電流対応だけではなく放熱性やコンパクト化に対するお客様の要望も強まっており、更なる研究開発活動をおこなっています。

このように、メイコーは低炭素社会の実現に向けて、ハイブリッドカーや電気自動車などの環境対応型製品を陰で支える大電流基板を、これからも進化・発展させていきます。



大電流基板(断面写真)

株式会社メイコー

本社 〒252-1104 神奈川県横浜市上大5-14-15  
TEL: 0467 (76) 6001 (大代表)

ホームページ <http://www.meiko-elec.com/>

#### 見直しに関する注意事項

本報告書に記載されている情報につきましては、当社の計画、業績など将来の見直しに関する記述が含まれており、これらの記述は、その時点で入手可能な情報および当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいています。実際の業績は、様々な要素により、これらと異なる結果となり得ることをご承知おきください。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。